

川崎宿の活動団体紹介

川崎宿には、街歩きガイドや麦わら細工の継承活動に取組む団体も活動しています。

NPO法人かわさき歴史ガイド協会

2000年に市内で初めての本格的なガイド団体「かわさき大師観光ガイドの会」として誕生しました。2004年にNPO法人に改組し「かわさき歴史ガイド協会」として生まれ変わりました。ガイドは、川崎宿の他にも「大師道・ご利益・田島」の全4コースを標準にコースガイドを受け付けています。



ガイド協会
HP

連絡先：044-221-9117



麦人の会

わたしたちは、麦わら細工の継承活動に取組む市民団体です。麦わら細工発祥の地・大森の郷土博物館と連携しながら、公の施設などで講座の開催や東海道川崎宿2023のイベント時におけるPR活動などをして、幅広い世代に麦わら細工の魅力を発信しています。出前講座も行っています。



連絡先：044-333-0656 (池田)



その他
協力団体

中央地区連合町内会、川崎駅広域商店街連合会なども連携したまちづくりに取組んでいます。

東海道川崎宿2023とは？

東海道川崎宿の歴史や文化を活かしたまちづくりを進める市民と行政の協働組織です。

平成14年度に開催された市民参加のワークショップなどを経てまとめられた、東海道川崎宿の歴史や文化を活かしたまちづくりの市民提案「東海道川崎宿2023いきいき作戦」に基づき活動しています。

平成23年4月には改訂版として第二巻を発行しました。現在メンバーを募集中です。まちづくりに興味がある方は、是非お問合せください。



2023の意味は？

東海道川崎宿が成立した^{げん}元和9 (1623) 年から400年目の2023年の「2023」を示しています。

東海道五十三次とよく言われますが、初めから53の宿場が存在したわけではありません。徳川幕府は慶長6 (1601) 年に東海道を制定しましたが、川崎宿が成立したのは^{げん}元和9 (1623) 年なのです。

川崎宿は品川・神奈川間の伝馬^{てんま}継立の負担軽減のため開設され、最盛期には72軒の旅籠(旅館)が軒を並べ、東海道の往来者、川崎大師への参拝客などで賑わいました。

その後、震災などにより古い建物は焼失し、現在の街道筋に江戸時代の宿場町の面影はありませんが、その文化や歴史をまちづくりに活かし、かつての宿場町の賑わいをより多くの方に知ってもらいたい。2023年は川崎宿復興の目標年でもあるのです。

発行 東海道川崎宿 2023
2020年3月 (改訂版)
問合わせ 川崎区役所地域振興課
電話 044-201-3136
協力 かわさき名産品認定事業実行委員会

東海道川崎宿2023 街歩きお役立ち ガイドマップ



～2023年を目指して～



2023の近年の活動

まちなみ整備

●タペストリーの設置

東海道沿道を中心とした店舗などに、東海道川崎宿浮世絵タペストリーを設置しました。川崎の街歩きをしながら探して見たいかですか。



●フラッグ(旗)の設置

東海道沿道の外路灯に商店街の協力により、東海道川崎宿フラッグを設置しています。東海道川崎宿の道標となるよう川崎宿全域への設置をすすめています。



●浮世絵トランスボックスラッピング

東海道沿道及びその付近のトランスボックスに、東京電力及び砂子の里資料館協力により、川崎の浮世絵を中心にラッピングしました。



●浮世絵マンホールの設置

平成30年3月、旧東海道沿道にある歩道上の下水道マンホール蓋7箇所は、東海道川崎宿の浮世絵を貴重とし歌川広重が描いた「東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟」をデザインしたデザインの蓋となりました。



●シャッター浮世絵

歌川広重の「東海道五拾三次」の浮世絵などを、東海道近辺の店舗等のシャッターに設置しました。平成26年7月には、川崎信用金庫本店のシャッターにも整備がされました。



文化の創出

●スタンプラリーの開催

東海道川崎宿の史跡をめぐるスタンプラリーを毎年秋に開催しています。商店街によるサービスなど町内会・市民団体などと一体となったイベントです。



●まつりの開催

東海道川崎宿をテーマに毎年4月に開催。物販、体験のほか三角おもむびレジンコンテストなど盛りだくさんの内容です。



●坂本九さん関連コンサート

川崎区出身の昭和の大歌手、坂本九さんの楽曲等を中心としたコンサートを九さんの命日や誕生日の前後などに開催しています。



東海道川崎宿 史跡マップ

コラム

三角おむすび

江戸時代、川崎宿を通る紀州の殿様は徳川家の葵の御紋にみたてた「御紋おむすび」をだした事から、川崎宿が三角おむすび発祥といわれています。

1 六郷の渡し

慶長5年(1600)に六郷大橋を架けたが、貞享5年(1688)の大洪水で流されて以来、明治7年(1874)まで渡船が続けられた。多摩川には、記録に残る渡し場が、38か所あった。



3 川崎稲荷社

享保元年(1716)紀州藩主吉宗が、八代將軍継承で江戸下向の折り、本陣近くのこの稲荷社境内で休息したと伝えられている。



5 一行寺

別名閻魔寺として有名。現在も、1月と7月の年2回、閻魔大王の御開帳が行われている。



7 宗三寺

鎌倉時代創建、勝福寺が前身と言われている。境内には遊女の供養塔と波多野家と青木家の墓石の頭部中央に「鳥八白」と刻まれた、いまだ解明されていない墓石がある。



9 旧六郷橋親柱(稲毛公園)

大正14年(1925)に六郷川に架けられて以来約60年間、川崎の産業発展を支えてきたその親柱は平成14年秋、稲毛公園に移設された。



2 万年(屋)跡

渡し船をおりて川崎宿に入ると、万年(屋)、会津屋、新田屋等の旅館や茶屋があった。万年(屋)で好評であった奈良茶飯を現代風にアレンジをした「奈良茶飯風おかわ」は川崎東照で食べることができる。



4 田中本陣跡

田中休愚は、宝永元年(1704)に本陣職を継ぎ、後に名主・間屋役を兼帯。困窮していた宿の財政を幕府の助成金と、渡船請負権を得て立て直した。



6 東海道かわさき宿交流館

平成25年(2013)10月に開館。タッチパネルで操作できる映像や模型などによって、川崎市の歴史・文化を掘り下げて学ぶことができる文化交流拠点。一部、かわさき名産品の販売もを行っている。



8 稲毛神社

鎌倉時代に佐々木高綱が社殿を造営、江戸時代は川崎6か村の総鎮守、山王社と呼ばれて崇敬される。境内には歴史記念物が多く残されている。



10 真福寺

川崎宿に3つしかない参道を持つ寺の一つで、本尊の薬師如来は、古くから眼の病気や多くの病気に効能があると信じられている。



11 佐藤惣之助の碑

大正時代に活躍した詩人で歌謡曲の作詞家としても有名な佐藤惣之助は、代々本陣職を務めてきた佐藤家の生まれ。碑の向かいには本陣の解説板が建てられている。



正しいウォーキングの姿勢で歩きましょう。

- 肩の力を抜いて背中を伸ばし、顔を軽く振りましょう。
- 呼吸は「吸う」「吐く」「吐く」の一定のリズムで。
- 着地はかかとから。歩幅を大きめにするとうるまひが伸び、かかとから着地しやすいです。



12 川崎浮世絵ギャラリー

公益社団法人川崎・砂子の里資料館の浮世絵コレクション所蔵数約4000点の中から、希少な作品を含む豊富な川崎ゆかりの浮世絵を含め、一部を展示しています。



コラム 幕末の万年屋

幕末の頃、坂本竜馬と久坂玄瑞が、外国使節の暗殺計画の密談を行ったのが、万年屋といわれています。

コラム 大徳寺

境内には、「江戸名所図会」にも描かれた川崎宿の茶屋「万年屋」の主人半七の墓があります。

13 石敢當の碑

1960年の宮古台風災害に対し川崎市議会が中心になり、全市で募金活動が行われ、その御礼として当時の琉球政府から送られた。



15 小土呂橋跡

小土呂橋は新川堀の悪水路に架かっていた橋。橋の欄干の親柱が現在の交差点の歩道脇に保存されている。



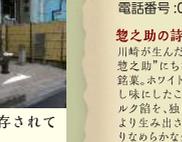
17 芭蕉ポケットパーク

平成17年(2005)3月完成。芭蕉との別れを惜しんだ、江戸の弟子たちによる饞別の句や絵図(東海道分間延絵図)などを紹介している。



19 無縁塚

江戸時代、災害や飢饉などで亡くなった身元不明の遺体を埋葬したといわれている。これら無縁仏の供養のための「慰霊塔」が保存されている。



14 妙速寺

二ヶ領用水を完成させた小泉次大夫と二ヶ領用水を再興した中興の祖・田中休愚の偉業を称える「泉田二君功德碑」、小泉次大夫と妻の逆修塔、日純上人墓などがある。



16 教安寺

徳本上人の六字名号碑(金文字)(1816) 教安寺の山門前にある富士講の灯籠は天保11年(1840)に京口見附(棒鼻)に建てられ、「宿内安全」と刻まれている。



18 芭蕉の句碑

元禄7年(1694)5月江戸を立ち、故郷の伊賀へ帰る際、上の棒鼻(宿のはずれ)で江戸から連れだつてきた門弟たちと句を詠んで別れを惜しんだ。



20 夫婦(女夫)橋

江戸時代、東海道の市場村と川崎との境界には夫婦橋という二つの橋があり、東海道を歩く人々の憩いの場ともなっていた。



かわさき名産品の紹介

7 菓寮東照 / かわっぴら餅

電話番号: 044-244-5221
大正2年創業・東照の柔らかく香ばしい平たい焼大福。逢入大福と醤油大福の2種類があります。



8 成喜(かわさき餃子舗の会)

電話番号: 044-244-4888
かわさき餃子みそ



1 菓子匠 未広庵

電話番号: 044-233-4658
惣之助の詩
川崎が生んだ詩人「佐藤惣之助」にちなんで川崎銘菓。ホワイトチョコを隠し味にしたこだわりのミルク餡を、独自の配合により生み出されたしっとりなめらかな生地で包みました。優しい味わいのミルク餡です。



2 堂本製菓 / 大師巻

電話番号: 044-222-2454
大師巻は縁起物と呼ばれ煎餅のサクッと感、海苔のパリッと感に醤油だれの甘辛味が相性抜群の商品です。



エンゼルのほっぺ

森永製菓の特許した、ギョロトワリーな和スイーツ。ふわと抹茶の香りがする宇治抹茶クリームと、ほんのリビターなチョコレート餡をふわふわの無添加・無加糖のお餅で包んだ大福です。



川崎名産品はQRコードよりご覧下さい。
2020年3月時点

